

山形県公立大学法人 教育振興会会報

令和6年度 No. 1

(通巻第180号)

令和6年8月20日発行

〈発行所〉

山形県公立大学法人 教育振興会

〒992-0025 山形県米沢市通町6-15-1

電話 0238 (22) 7330(代)

FAX 0238 (22) 7333

〈印刷所〉株式会社 川島印刷



入学式



カーシェアオープニングセレモニー



上杉まつり 薙刀隊



最後にありますが、学生の皆さんがより良い充実した大学生活が送れますよう、教育振興会といたしましても最大限のお手伝いをさせていただきます。今後とも引き続き皆様の温かいご支援とご協力の程賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

この度、教育振興会会長を務めさせて頂きます遠藤隆幸と申します。微力ながら精一杯務めさせていただきますので、一年間宜しくお願い致します。

さて、新型コロナウイルスも昨年より「五類感染症」移行に伴い、感染症対策も緩和され、県内外から入学されました友人との学びやサークル活動での交流、地域の文化などにも触れ、大学生生活を謳歌されている事と思います。そして、その先にある自分自身の目標、思い描いた将来の夢に向けて確実に歩んでほしいと思います。

両大学での各種資格取得やキャリアアップ支援、病院や地域自治体との連携事業、就職活動や編入学へ向けてご尽力頂いております学長、教職員の皆様には心より感謝申し上げます。

す。心よりお祝い申し上げます。また、教育振興会会員の皆様におかれましては、日頃よりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

山形県公立大学法人
教育振興会 会長

遠藤 隆幸

本年度米沢栄養大学、米沢女子短期大学へご入学された学生の皆さん、保護者の皆様へ入学誠にめでとうござい

近年、お店の券売機が複雑になり自分の食べたい物を正確に選択できない事態が生じている。単品や大盛りなら押せるが、セットメニューやトッピングとなるとけっこう難しい。メニュー表がタブレットになったりしている店もあり、券売機やタブレットと格闘である。お店に入って気楽にご飯にありつける時代は去ったといえる。注文までが一大事だ。

そうなると、自分みたいな年寄りが入店可能なお店は限られてくる。世の中、人手不足で店員さんが来てくれて注文するなんていうお店は街から消えつつある。現金は使用できませんなんていうお店もある。これからの資本主義は、今まで普通であった、客側の選択の多様性や自由度の拡大（幻想であったかもしれないが）ではなく、資本側が提示する範囲内での衣食住の享受へと矮小化していくのではない。現状的な衣食住を維持できるのは一定水準以上の経済を有するごくわずかな人だけになるのではない。時代についていけない我が身はふと考える。

お金持ちではない、さりとて機械操作が得意であるわけでもない、超平均的な昭和世代である自分は、いかにして高度化する社会に適合していくかよりも、どのよ

せきれい



うにしてうまく逃げ切るかがこれからの課題になる。

山形県立米沢女子短期大学

日本史学科 教授 布施 賢治

学生の頃、学費として使うべきお金にアルバイトで溜めた貯蓄を加えて、パソコンを購入した。コンピュータで音楽をやるためだ。当時、国産のものはまだ使い物にならず、米国の会社からソフトウェアを直輸入し、英語マニュアルを解読しながら音源モジュールを接続して、ようやく思い通りの音が出せたときには感涙した。

現代の学生が、当時の私と同じことをするのなら、おそらく数分の一くらい予算と半分くらいの労力で事足りるだろうが、このことは昔と今とで人の創造力が異なることを意味しない。いわゆるデジタル技術の進展は、人間の文化活動の裾野を広げ、遥か彼方の山の頂を手が届くものにした。誰もが表現者になれる時代であるが、山頂に達するには相応の準備と訓練が要る。遭難することもあり得るだろう。ただ、実際に登ろうとするか否かが最初の問題である。

一歩を踏み出すためには、知恵と知識に裏付けられた意志の力が必要だが、深く考えることはない。とにかくやる。それだけだろう。そしてそれが最大の関門だったと今なら分かる。ちなみに学生時代の私は、(学部長・総長を経て)文部大臣からの学費督促状という、減多に目しないものがあったが、たく頂戴した。

山形県立米沢女子短期大学

社会情報学科 教授 小池 隆太



ごあいさつ

山形県公立大学法人 理事長
山形県立米沢栄養大学・山形県立米沢女子短期大学

学 長 阿 部 宏 慈

米沢栄養大学および米沢女子短期大学の学長の阿部宏慈です。

教育振興会の皆様には日頃より本学の教育・研究活動に対し、多大なるご支援をたまわり、心より御礼申し上げます。

今年の入学式は、吉村美栄子山形県知事、近藤洋介米沢市長、猪俣郁子同窓会長ご臨席のもと、大学・短大合同で挙行することができました。これは学長である私にとっても大きな喜びでありました。

振興会様からは学生の学びや課外活動に欠かせぬ設備・備品、図書などについて多大な支援をいただいております。特に学生の将来にとってきわめて重要なキャリア支援活動にもご協力いただき、深く感謝しております。これらのご支援のおかげもあり、両大学は、就職や編入学などの進路の指導において、すぐれた実績を挙げております。心より御礼申し上げます。

今年度の入学生で言えば、栄養大学の入学生も二年連続で県内出身者が五〇%を超え、県立大学としては大変うれしいところです。また、病院との連携事業や、自治体特に米沢市との連携事業なども注目を集めています。就職の実績は就職率一〇〇%を維持し、県

内外での卒業生の活躍ぶりはまことにうれしい限りです。今後ぜひ本学の存在感を高めるべく、広報に努めていきたいと考えています。

短期大学も、実践的な科目を数多く配置して、TOEIC等の検定試験への対策はもちろん、教職免許の基礎的な科目や司書資格あるいは学芸員資格などの取得に向けての準備など補助させていただいております。コロナで中止していた海外実習も今年度は実施する予定です。本学の強みの一つである四年制大学への編入学についても指導に力を入れ、編入学希望の実現に向けてサポートしていきたいと考えています。

ご承知の通り、栄大・米短の学生は、地域の皆さんからも大変かわいがっていただき、勉学にはげむにもってこいの環境を提供していただいております。市内の商業活動や市民活動にとっても栄大、短大の若い力は、欠かせない資源です。今後も連携に力をいれたいと考えます。

本学といたしましては、大学短大での学生生活がより一層充実したものとなるべく、教職員一同力を合わせて取り組んでいきますので、今後とも一層のご理解ご支援のほどお願いし、学長からのご挨拶とさせていただきます。

新入生の声

山形県立米沢栄養大学

健康栄養学部 健康栄養学科

一年 土屋 胡々南

新たな生活への期待と不安を抱いて迎えた入学式から三ヶ月が経ちました。忙しいながらも新しい環境、新しい仲間との出会いを通して充実した大学生活を送っています。

「大学での勉強はこれまでの常識が通用しない。」入学して早々私は困惑しました。これまでは授業の内容をそのまま受けとるだけでしたが、大学では授業の理解を自分なりに深め、自ら新たな知識を身につける必要があります。今もまだ慣れていませんが、自分に合う勉強の方法を模索し続けて様々な知識を身につけていきたいと思っています。

しかし、大学は勉強するための場所ではありません。サークル活動やボランティア活動、イベント活動など多くの人と関わり自分の可能性を広げる機会がたくさんあるのです。私も現在サークルに所属しており色々な人との交流を楽しんでいます。

これからの四年間は自分次第でどの方向にも変えていけると考えています。より豊かなものにするために自主的に学ぶ姿勢を忘れず、日々精進してまいります。

山形県立米沢女子短期大学

国語国文学科

一年 大河原 じゅんろ

これからの大学生活への期待と不安を胸に抱えた入学式から三ヶ月が経過しました。その間にも、研修旅行や来年に向けた編入・就職活動への準備など、様々なことがありました。最初は慣れない大学生活に戸惑っていましたが、新たな友人との出会いもあり、今では楽しく充実した短大生活を送っています。

私は大学生として生活していく中で、高校までとは違った視点での授業が多いと感じました。そのため、毎日新しい発見があったり、今までの自分の考えが覆るような意見があったりと、日々驚くことばかりです。そういった部分が、充実した大学生活へと繋がっていると感じています。私は卒業後、民間企業への就職を考えています。社会に出てからも必要になる主体性や、物事を掘り下げてより深く考える力など、この米沢女子短期大学で身につけていきたいと思っています。

二年間はあっという間に過ぎていきますが、大学だからこそその学びを大切に、より確かなものにできるように日々努力していきます。



祝 山形県立米沢栄養大学・米沢女子短期大学 入学式

令和6年度教育振興会役員・代議員名簿

(敬称略)

会長	佐々木郁文(二年保護者)
副会長	大友 美樹(二年保護者)
加藤 貴博(二年保護者)	遠藤 美佳(二年保護者)
遠藤 克之(二年保護者)	相田 則之(二年保護者)
吉田 欽(図書館長)	淀川久美子(二年保護者)
理事	佐藤 弥生(二年保護者)
濱田 明孝(四年保護者)	金子 豊(二年保護者)
赤間 吉広(三年保護者)	富樫 圭子(二年保護者)
小関 陽市(二年保護者)	小玉 康彦(二年保護者)
渡辺 浩行(二年保護者)	菅野 誠(二年保護者)
高橋 和廣(二年保護者)	佐藤 美穂(二年保護者)
浅野 美和(二年保護者)	佐藤 勝則(二年保護者)
保科ゆかり(二年保護者)	鈴木 和郎(二年保護者)
金光 秀子	進藤 美穂(二年保護者)
(栄養大学学生部長兼栄養大 キャリア支援センター長	鈴木 淳一(二年保護者)
小池 隆太	渡部 正之(二年保護者)
(米短学生部長兼米短 キャリア支援センター長	安江 恵子(二年保護者)
渡辺 博幸(事務局長)	阿部 光敏(二年保護者)
監事	沼澤奈々枝(二年保護者)
佐藤サトミ(二年保護者)	穴澤 栄一(二年保護者)
五十嵐裕美(二年保護者)	岡崎美和子(二年保護者)
西川 友子	大和田浩子
(米短社会情報学科長)	(栄養大健康栄養学部長)
代議員	松井 真人(米短副学長)
鈴木 洋子(四年保護者)	佐々木紀一
峯田 雄篤(四年保護者)	(米短国語国文学科長)
佐々木琴恵(三年保護者)	渡邊真由美
色摩 信也(三年保護者)	(米短英語英文学科長)
漆山 裕(二年保護者)	布施 賢治
我妻 敦子(二年保護者)	幹事
安部 孝義(二年保護者)	鈴木 清晃(事務局員)
西長 孝浩(二年保護者)	会計
後藤 優美(二年保護者)	井淵 善洋(事務局員)
	書記
	原 恵美子(事務局員)

令和6年度総会報告

本年度の総会について、代議員の方々に審議頂き、次の通り承認されましたので、会員の皆様にお知らせいたします。

一 令和5年度事業実績報告及び収支決算について

表1-5のとおり、令和5年度事業実績及び収支決算について承認されました。

二 令和6年度事業計画及び収支予算について

令和6年度事業計画及び収支予算について、表6-10のとおり承認されました。

三 役員の選任について

吉野祐治会長が退任され、遠藤隆幸新会長が選任されました。令和6年度の新役員並びに代議員の方々は上記のとおりです。

四 顧問の選任について

本会顧問として次の方が選任されました。

石黒 龍実さん

(令和4年度本会会長)

吉野 祐治さん

(令和5年度本会会長)

五 寄付について

令和5年度の図書整備拡充費により購入した図書(七百十八冊)及び、学内に設置したWiFiを法人に寄付することについて提案があり承認されました。

今後とも本会の事業運営につきまして、より一層のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年度 山形県公立大学法人教育振興会 事業実績報告 (表1)

1 事業等

(1) 就職・編入学支援関係事業

- ①就職支援員の配置(栄養大・米短大生の就職相談・支援等)
- ②就職・編入学対策講座等の開設支援(講師謝金等の負担)

実施月	講 座 等 名
令和5年4月	履歴書・自己PR・面接実践講座、面接練習・面接訓練・グループディスカッション講座、編入学ガイダンス・志望理由書・英語・小論文講座、公務員勉強会(～7月まで毎月)
5月	公務員模試(実戦)①
6月	公務員模試(実戦)②、編入学小論文模試(人文・社会)
7月	ビジネスマナー講座(インターンシップ事前講座)、編入学小論文模試・英語模試、OGの話を聞く会(編入学)、公務員模試(実戦)③
9月	編入学面接練習
10月	公務員面接練習、公務員勉強会(～12月まで毎月)、OB・OGの話を聞く会(栄養大)
11月	公務員模試(基礎)①、社会人基礎力養成講座、OGの話を聞く会(公務員、就職)
12月	就活対策強化講座(～1月まで全3回)
令和6年1月	合格体験報告会(公務員、編入学)、公務員模試(基礎)②
2月	就職内定体験報告会

※一部法人予算を含む。

③その他

- ・就職・編入学支援関連図書の購入
- ・管理栄養士国家試験対策関連書籍の購入

(2) 学生への助成

- ①公務員模試受験料への助成(助成額900円/人(受験料1,900円))延べ101名受験
- ②学生の資格(TOEIC、日商PC検定、情報処理技術者、日商簿記、ピアヘルパー認定)取得への助成(助成額1,000円/人 ※TOEIC(公開試験)と情報処理技術者試験は2,000円/人)延べ158名受験
- ③スポーツ大会(全国・東北)への参加経費への助成:少林寺拳法(全国・東北)1名、陸上競技(全国・東北)1名

(3) オープンキャンパス開催への支援

サポート学生への謝礼等の支出

米大13名 短大51名

(4) 教育振興会会報の発行

第1号(8/20)、第2号(1/20)、第3号(3/10)

(5) 図書の購入、施設整備

- ①図書・雑誌(学生希望)の購入
- ②施設整備
 - ・校内WiFi設置(A号館情報処理教室1、B号館201教室)
 - ・屋外防犯カメラの増設(栄養大1台)
 - ・学生食堂のティーサーバーの更新(リース)

(6) その他

- ①学生相談業務(公認心理師の配置)
- ②携帯用防犯ブザーの入学者への配布
- ③学生教育研究災害保険付帯賠償責任保険への加入
- ④広報事業(新聞への大学のPR広告掲載)
- ⑤卒業生への卒業記念品(多機能防災ラジオ)の配布
- ⑥学生自治会への助成(吾妻祭実施経費)

2 会議等

(1) 理事会・総会

日 時 令和5年6月29日(木)

理事会 17:00～

総会 18:00～

場 所 理事会 短大B号館3階304教室

総会 短大B号館3階視聴覚教室

協議事項 令和4年度事業実績報告及び収支決算

令和5年事業計画(案)及び収支予算(案)

理事及び監事の選任について

会長、副会長等の選任について

顧問の選任について

寄付について

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入学式を簡略化して開催、入学式に併せて開催していた入会式は中止した。

令和5年度 山形県公立大学法人教育振興会 一般会計収支決算 (表2)

〈収入の部〉

単位：円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
会費		14,345,000	14,315,000	△30,000	@10,000×174名(栄養大) @10,000×516名(短大) @5,000×1名(短大半期分) @退学者・休学者返金5,000円×3名 @25,000×297名(栄43・短254) ※入学生のみ
	会費	6,920,000	6,890,000	△30,000	
	入会金	7,425,000	7,425,000	0	
保険料		760,000	869,541	109,541	職員の保険料個人負担分
前年度繰越金		1,962,077	1,962,077	0	令和4年度からの繰越金
諸収入		923	66	△857	預金利息等
合計		17,068,000	17,146,684	78,684	

〈支出の部〉

単位：円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
運営総務費		3,860,000	3,894,409	34,409	総会・理事会等 職員(書記)賃金等 監査・総会・理事会出席旅費 事務用品等 会報の発行及び郵送料 振込手数料等
	会議費	20,000	13,500	△6,500	
	職員旅費	3,100,000	3,253,399	153,399	
	需用費	80,000	65,000	△15,000	
	会報発行費	10,000	616	△9,384	
	総務諸費	530,000	474,374	△55,626	
		120,000	87,520	△32,480	
教育振興費		10,100,000	9,851,320	△248,680	キャリア支援講座、就職支援員の配置等 賠償責任保険、実習関係助成等 大学祭への助成 卒業記念品関係
	進路指導費	6,500,000	6,674,241	174,241	
	教務補助費	1,100,000	999,020	△100,980	
	学生自治会費	800,000	800,000	0	
	教育振興諸費	1,700,000	1,378,059	△321,941	
体育協力費		200,000	101,816	△98,184	選手参加旅費支援
	総体参加費	200,000	101,816	△98,184	
	総体参加諸費	0	0	0	
大学活性化対策支援費		480,000	287,890	△192,110	オープンキャンパス開催支援 学園都市推進協議会、広告料等
	入試等支援	310,000	181,920	△128,080	
	広報・公聴支援	170,000	105,970	△64,030	
特別会計繰出金	特別会計繰出金	2,328,000	2,328,000	0	
予備費		100,000	0	△100,000	
	予備費	100,000	0	△100,000	
合計		17,068,000	16,463,435	△604,565	

(収入合計) - (支出合計) 17,146,684円 - 16,463,435円 = 683,249円(令和6年度へ繰越)

令和5年度 山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(施設拡充費)収支決算 (表3)

〈収入の部〉

単位：円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
施設拡充費		3,400,000	3,400,000	0	@20,000×43名(栄養大) @10,000×254名(短大)
	施設拡充費	3,400,000	3,400,000	0	
繰入金		3,744,000	3,333,304	△410,696	一般会計繰入金 積立金繰入金
	一般会計繰入金	2,328,000	2,328,000	0	
	積立金繰入金	1,416,000	1,005,304	△410,696	
繰越金		872,310	872,310	0	令和4年度からの繰越金
	前年度繰越金	872,310	872,310	0	
諸収入		690	13	△677	預金利息等
	雑入金	690	13	△677	
合計		8,017,000	7,605,627	△411,373	

〈支出の部〉

単位：円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
大学整備費		7,917,000	7,414,621	△502,379	学内WIFI設置、屋外防犯カメラ設置 トレーニング機器リース ティーサーバーリース(更新) 学内樹木雪囲い等 学生希望図書、電子書籍等 企画展運営及び資料整理経費等
	整備拡充費	600,000	509,971	△90,029	
	環境整備費	1,660,000	1,450,240	△209,760	
	図書整備拡充費	5,157,000	4,972,197	△184,803	
	記念資料室整備充実費	500,000	482,213	△17,787	
積立金	積立金	0	0	0	
予備費		100,000	0	△100,000	
	予備費	100,000	0	△100,000	
合計		8,017,000	7,414,621	△602,379	

(収入合計) - (支出合計) 7,605,627円 - 7,414,621円 = 191,006円(令和6年度へ繰越)

令和5年度 山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(積立金)収支決算 (表4)

単位：円

科目	期首残高	期中積立額	期中取崩額	期末残高	摘要
積立金	12,412,001	258	1,005,304	11,406,955	市内の金融機関4行に定期預金として預入
		新規積立0円 利息258円			

監査報告書

令和5年度山形県公立大学法人教育振興会の会計監査を実施したところ、業務、帳簿・証拠書類等適正に執行されていたことを報告いたします。

令和6年6月18日

山形県公立大学法人教育振興会

監事 横山智子 印

監事 佐藤サトミ 印

監事 布施賢治 印

※印影については、個人情報のため、削除しております。

令和5年度 山形県公立大学法人教育振興会 奨学金貸付特別会計収支決算(表5)

〈収入の部〉

単位：円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
繰入金		0	0	0	繰入金
	繰入金	0	0	0	
繰越金		4,497,630	4,497,630	0	前年度繰越金
	前年度繰越金	4,497,630	4,497,630	0	
貸付回収収入		0	0	0	奨学金回収収入
	奨学金回収収入	0	0	0	
合計		4,497,630	4,497,630	0	令和4年度からの繰越金

〈支出の部〉

単位：円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
貸付金		3,600,000	0	△3,600,000	奨学金貸付金
	奨学金貸付金	3,600,000	0	△3,600,000	
事務費		300,000	0	△300,000	事務費
	事務費	300,000	0	△300,000	
予備費		597,630	0	△597,630	予備費
	予備費	597,630	0	△597,630	
合計		4,497,630	0	△4,497,630	

(収入合計) - (支出合計) 4,497,630円 - 0円 = 4,497,630円(令和6年度へ繰越)

令和 6 年度 山形県公立大学法人教育振興会 事業計画 (表6)

- 1 事業等
- (1) 就職・編入学支援関係事業
- ・就職支援員の配置
- ・就職・編入学対策講座等の開設支援(講座の講師謝金負担等)
- ・就職・編入学、国家試験(管理栄養士)関連図書を購入
- (2) 学生への助成
- ・各種試験(公務員模試、資格取得(TOEIC、日商PC検定、情報処理技術者、日商簿記、ピアヘルパー認定))受験への助成
- ・スポーツ大会(全国・東北)への参加経費への助成
- (3) オープンキャンパス開催への支援
- 参加生徒との交流(懇談)にかかる経費の支出
- ・短期大学オープンキャンパス 7月27日(土)及び7月28日(日)
- ・栄養大学オープンキャンパス 8月3日(土)及び8月4日(日)
- (4) 教育振興会会報の発行 年2回発行
- ※印刷経費が高騰しており、郵送料の値上げも今年度後半見込まれることから、発行回数は年2回とする。ただし第2号のページ数はP4からP8とすることにより、掲載内容は減らさないようにする。
- ※各大学の行事等の情報についてはLINEで提供
-  米沢女子短期大学
LINE公式
アカウント
-  米沢栄養大学
LINE公式
アカウント
- 会で過去に整備したが故障中)
- ・学内樹木の管理 等
- (6) その他
- ①学生相談業務(公認心理師の配置)
- ②携帯用防犯ブザーの入学者への配布
- ③学生教育研究災害保険付帯賠償責任保険への加入
- ④広報事業(新聞への大学のPR広告掲載)
- ⑤卒業生への卒業記念品の配布
- ⑥学生自治会への助成(吾妻祭)
- 2 会議等
- (1) 入会式の開催 (2) 理事会の開催 (3) 総会の開催
- ※これまで新型コロナウイルス感染症の影響により、中止していた入会式を再開

令和 6 年度 山形県公立大学法人教育振興会 一般会計収支予算 (表7)

〈収入の部〉					単位：円
大 科 目	小 科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
会 費		13,870,000	14,345,000	△475,000	
	会 費 金	6,770,000	6,920,000	△150,000	@10,000×178名(栄養大) @10,000×499名(短大)
保 險		7,100,000	7,425,000	△325,000	@25,000×297名(栄46・短238)※入学生のみ
	会 料	1,000,000	760,000	240,000	職員の保険料個人負担分
前 年 度 繰 越 金		683,249	1,962,077	△1,278,828	令和5年度からの繰越金
	諸 収 入	751	923	△172	預金利子等
合 計		15,554,000	17,068,000	△1,514,000	
〈支出の部〉					単位：円
大 科 目	小 科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
運 営 総 務 費		4,353,000	3,860,000	493,000	
	会 議 費	20,000	20,000	0	総会・理事会等
	職 員 費	3,660,000	3,100,000	560,000	書記賃金等
	旅 費	80,000	80,000	0	会議等
	需 用 費	8,000	10,000	△2,000	事務用品、印刷経費等
	会 報 発 行 費	485,000	530,000	△45,000	会報の発行及び郵送料
教育 振 興 費	総 務 諸 費	100,000	120,000	△20,000	振込手数料等
		10,120,000	10,100,000	20,000	
	進 路 指 導 費	6,700,000	6,500,000	200,000	就職支援員の配置、キャリア支援講座等
	教 務 補 導 費	1,000,000	1,100,000	△100,000	学生の保険加入、学生相談経費等
	学生自治会費	800,000	800,000	0	自治会活動(大学祭)補助
	教育振興諸費	1,620,000	1,700,000	△80,000	入学・卒業式支援等
体 育 協 力 費		100,000	200,000	△100,000	
	総 体 参 加 費	100,000	200,000	△100,000	参加料・選手参加旅費
大学活性化対策支援費		410,000	480,000	△70,000	
	入 試 支 援	300,000	310,000	△10,000	オープンキャンパス開催支援等
特別会計繰出金	広報・公聴支援	110,000	170,000	△60,000	学園都市推進協議会、広告掲載等
	特別会計繰出金	521,000	2,328,000	△1,807,000	
予 備 費		50,000	100,000	△50,000	
	予 備 費	50,000	100,000	△50,000	
合 計		15,554,000	17,068,000	△1,514,000	

令和 6 年度 山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(施設拡充費)収支予算 (表8)

〈収入の部〉					単位：円
大 科 目	小 科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
施 設 拡 充 費		3,300,000	3,400,000	△100,000	
	施 設 拡 充 費	3,300,000	3,400,000	△100,000	@20,000×46名(栄養大) @10,000×238名(短大)
繰 入 金		4,421,000	3,744,000	677,000	
	一般会計繰入金	521,000	2,328,000	△1,807,000	
繰 越 金	積立金繰入金	3,900,000	1,416,000	2,484,000	
		191,006	872,310	△681,304	
諸 収 入	前年度繰越金	191,006	872,310	△681,304	令和5年度からの繰越金
		994	690	304	
合 計	雑 入 金	994	690	304	預金利子等
		7,913,000	8,017,000	△104,000	
〈支出の部〉					単位：円
大 科 目	小 科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
大 学 整 備 費		7,863,000	7,917,000	△54,000	
	整 備 拡 充 費	730,000	600,000	130,000	短大A号館205号室 エアコン更新
	環 境 整 備 費	1,500,000	1,660,000	△160,000	トレーニング機器リース、ティーサーバーリース、学内樹木雪囲い等
	図 書 整 備 拡 充 費	5,233,000	5,157,000	76,000	学生希望図書、電子書籍等
	記念資料室整備充実費	400,000	500,000	△100,000	企画展運営及び資料整理経費等
	積 立 金	0	0	0	
予 備 費	積 立 金	50,000	100,000	△50,000	
	予 備 費	50,000	100,000	△50,000	
合 計		7,913,000	8,017,000	△104,000	

令和 6 年度 山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(積立金)収支予算 (表9)

科 目	期 首 残 高	期中積立額	期中取崩額	期 末 残 高	摘 要
積立金	11,406,955	3,200,000	3,900,000	10,706,955	市内の金融機関3行に定期預金として預入 奨学金特別会計から繰入

令和 6 年度 山形県公立大学法人教育振興会 奨学金貸付特別会計収支予算 (表10)

〈収入の部〉					単位：円
大科目	小科目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
繰 入 金		0	0	0	
	繰 入 金	0	0	0	
繰 越 金		4,497,630	4,497,630	0	
	前年度繰越金	4,497,630	4,497,630	0	令和5年度からの繰越金
貸付金回収収入		0	0	0	
	奨学金回収収入	0	0	0	
合 計		4,497,630	4,497,630	0	
〈支出の部〉					単位：円
大科目	小科目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
貸 付 金		1,200,000	3,600,000	△2,400,000	
	奨学金貸付金	1,200,000	3,600,000	△2,400,000	60万円×2名
事 務 費		50,000	300,000	△250,000	
	事 務 費	50,000	300,000	△250,000	切手、郵送料等
繰 出 金		3,200,000	0	3,200,000	
	積立金繰出金	3,200,000		3,200,000	
予 備 費		47,630	597,630	△550,000	
	予 備 費	47,630	597,630	△550,000	
合 計		4,497,630	4,497,630	0	

新任の挨拶

山形県立米沢栄養大学
健康栄養学部 健康栄養学科
教授 花屋 道子



四月から心理学科目と教職科目を中心に担当しております。花屋道子と申します。

山形生まれ仙台育ち、就職後は秋田、青森と東北各地をわたったのち、山形に戻って八年になります。どうぞよろしく願っています。

山形県立米沢栄養大学
健康栄養学部 健康栄養学科
教授 小原 仁



本年四月に米沢栄養大学に着任しました小原仁と申します。米沢栄養大学に勤務する前は、病院管理栄養士として約三十年勤務してありました。授業では病院管理栄養士のやりがいや楽しさを伝えていければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

山形県立米沢女子短期大学
国語国文学科
准教授 小峰 克之



本年度より米沢女子短期大学で日本語教育を担当致します小峰克之と申します。私は海外も含めて約二十年日本語教育に携わっておりますが、これまでに得た知見を学生たちに伝えていければと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

山形県立米沢女子短期大学
国語国文学科
准教授 大沼太兵衛



司書科目を中心に担当します大沼太兵衛と申します。狭く資格取得のためだけに、デジタル社会で情報を賢く活用できる力や批判的な思考力を学生が身につけられるような授業づくりを目指します。よろしく願っています。

山形県立米沢女子短期大学
社会情報学科
准教授 山田 忍



本年四月に社会情報学科に着任いたしました山田忍と申します。経済学を始めとする社会科学分野の授業を担当いたします。学生の皆様の学びが実り豊かなものとなるよう、努めて参る所存です。皆様のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

山形県立米沢女子短期大学
社会情報学科
准教授 村井 友樹



スポーツ実技やスポーツ文化論の授業を担当します村井友樹と申します。自然豊かな米沢の環境を活かしながら、スポーツの魅力を伝えられるように努めたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

山形県立米沢女子短期大学
日本史学科
講師 桑林 賢治



日本史学科に着任した桑林賢治と申します。地理学関連の授業を担当しています。出身は大阪府で、大学進学後は今春まで京都市内で暮らしてきました。未熟者ではございますが、ご指導を賜りますようお願いいたします。

山形県立米沢栄養大学
健康栄養学部 健康栄養学科
助手 北澤 寧音



山形県立米沢栄養大学の助手になりました、北澤寧音と申します。昨年度までは本学の学生として勉学に励んでおりました。今後は助手として、そして時に卒業生として、様々な面で学生をサポートしていきたくと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

先輩からのメッセージ

編入学

山形大学 人文社会学部 人間文化コース
山形県立米沢女子短期大学
国語国文学科卒業
遠藤 理史



編入学後三か月半ほどが経過しましたが、今私が短大でやっていくべきだったと後悔していることの一つに趣味を最大限追求することがあります。編入学後は日々の授業とそれに付随する課題やテストに追われ、自由に使える時間が非常に少なくなりました。自分の好きなことを追求することは編入学後の学びや、就職に少なからずつながってくると思います。編入学対策をしている最中は「そんな余裕はない」と思う気持ちもとても理解できるのですが、自分の「好き」を追求して「自己」を知る時間を作ってみるのはいかがでしょう。

就職

米沢信用金庫
山形県立米沢女子短期大学
英語英文学科卒業
田中 聖来



私は昔から人と関わることが好きでした。米沢市に住んでいく中でこの街が好きになり、金融という面から地域の人と身近に関わることができる米沢信用金庫に魅力を感じ、就職を決めました。初めは編入学と就職で悩み、進路を就職に決めたのが秋と遅くなってしまいました。その時は不安でいっぱいでしたが、キャリア支援センターに相談に行ったことで状況がいい方向に変わっていききました。それからエントリーシートの添削や面接練習などたくさんお世話になりました。一人では悩まずに、まずは相談してみることが大切です。友達と話したり息抜きしながら頑張ってください。応援しています。

就職

福島赤十字病院
山形県立米沢栄養大学
健康栄養学部
健康栄養学科卒業
丹野 真耀



私は入学当初から病院の管理栄養士になりたいと考えていました。大学四年生から就職活動の一環として積極的に病院見学へ行きました。見学をすることで職場の雰囲気、業務内容から病院の求める人材が見えてきました。また病院では小論文の試験が多かったため、ゼミの教授から題材を頂き、どのような課題が出されても自分の考えが述べられるように練習を重ねました。四年生になると勉強以外にもやるべきことが重なり、思い通りに行かないことがあります。しかし、皆さんの今の頑張りが必要将来に繋がります。妥協せず目標に向かい挑戦してください。応援しています。

就職

山形県立置賜農業高等学校
山形県立米沢女子短期大学
社会情報学科卒業
松田 彩来



県職員になり四カ月が経ち、徐々に職場の雰囲気や業務内容にも慣れてきました。県職員という県庁や総合支庁での勤務を想像していたため、高校の学校事務に配属された時はとても驚きました。私は民間企業も併願していましたが特に公務員試験は受験申し込みから一次・二次試験まであつという間なので、希望する自治体をよく知ることや自己分析を徹底して自分の強みを見つけておくことと面接でも役立ち心に余裕ができました。就活や公務員試験勉強は辛いことも多いですが、失敗を恐れず・周りに左右されずに自分の意思を最後まで貫くことが大切です。皆さんが輝けるような職場に出会えることを陰ながら応援しています。

新入生に 伝えたいこと

山形県立米沢栄養大学

健康栄養学部 健康栄養学科
教授 佐塚 正樹

ご入学おめでとうございます。現在ほど、ある意味、人間としての生き方を問われている時代はないかも知れません。個体群生態学で観た時の人間の行動は生命の歴史に見る五回の大絶滅で滅んだ生物種とは明らかに異なっており、これが更なる大惨事を地球に起こすのか、それともとてつもない進化を地球に起こすのか、いよいよその答えの時期が迫ってきていると感じます。

人間はリベラルアーツの力をもつ地球上唯一の生命体であります。大学とは正にそのリベラルアーツの力量をつけるために存在しており、皆さんはその学徒なのです。様々な想いのある中、皆さんは数ある学際・学術の中から栄養学を選んだわけですから（自分でも気づかなかったほど）これは決断している加減な気持ちのほずがありません。どうか心配をせず各人の目標を立て、栄養学というベクトルの中で（時にオートマトンを繰り返して）、自分にとつての幸せ（自然）をつかむ努力をして頂ければ望外の喜びであります。

山形県立米沢栄養大学

健康栄養学部 健康栄養学科
教授 花屋 道子

六月から七月にかけて、一年生全員の個別面談を行っています。大学入学と同時に、親もとを離れて一人暮らしを始めた学生さんが多数いらっしゃいますが、入学から二か月

も経つと、「毎日のお弁当の作り置きを週末に調理している」「課題は授業の空きコマか、朝、授業が始まる前の時間にやっている」など、少しずつ自分なりのペースが掴めてきている様子です。高校までは学んだことのなかった科目が多く、初めての期末試験の前に、高校までの勉強方法で通用するかどうかといった不安の声も多く聞きます。近い目標である、一つ一つの科目のクリアはもろろんとても重要ですが、ときには少し遠くの、より大きな人生の目標に目を向けてみると、それぞれの科目も管理栄養士国家試験という夢を叶えるためのピースの一つです。管理栄養士として活躍する自身の姿を思い描きながら、大学の勉強や社会勉強など、ご自身の現在の課題に取り組んでいってほしいと思います。

山形県立米沢女子短期大学

国語国文学科
教授 山本 淳

御入学後はや四か月経ちましたが、銘々学生生活を送っておられることと思います。希望通りに自己実現できている方、予てそう望んではいなかったものの日々の生活をそれなりに送ることが成っている方、もしかししたら本意ながら成り行きに任せてしまっている方、様々であるうかと推察いたします。それぞれの思いはあるにしても、縁あってこの大学・短期大学に貴重な時間を充てることになったわけですので、どうか思い切り振る舞っていただきたいと思います。手垢の付いた、月並みな表現になりますが、何をするにつけても、力一杯心を込めて臨んでください。何気なく、それとも無しに、という営為は、他人様に見せる態度

としてはそれでも宜しいのですが、内実は「魂を入れて行う」ものであって欲しく思います。それが、どういう結果に結び付くことも、決して後悔しない秘訣であると心得ます。若々しくも二度とない、四年乃至二年という時間を無為に過ごすことのないように、願ってやみません。

山形県立米沢女子短期大学

国語国文学科
准教授 村瀬 桃子

。本当は第一希望の大学があったんだけど……という新入生も多いのではないかと。そういう私も不本意な学だった。子どもの頃から「らしさ」を押し付けられるのが嫌いで、漠然とだがジェンダーに関心があつた。目指したのは経済学部だったが、受験に失敗した。一人でも生きていく資格（＝教員免許）が取れるというだけで、想定外の児童教育学科に入学することになった。当初は打ちひしがれたが、意外にも専門の授業が楽しかった。さらに、教育系の学科だしジェンダーにもかわかるだろうから、卒業論文のテーマは性教育、と早々に決めた。大学一年生で三十年以上続く研究テーマを見つけてしまった。

経済学部に入學していたら、ジェンダー経済学やフェミニズム経済学に出会った可能性もある。だが出会えたとしても、こだわって研究できたかどうかとも思う。私の例で恐縮だが、こんな偶然もあるということだ。

山形県立米沢女子短期大学

英語国文学科 准教授
タヴァコリー マーニ

私が初めてアメリカから米沢に来たのは、今から約三十年前、米沢市

役所の国際交流員として働くためでした。私の配属先はランダムで、まだスマホやインターネットで情報が簡単に手に入る前だったので、行先が決まったときは、米沢はとても寒いところだ雪がたくさん降るといことしか知りませんでした。

米沢に滞在するのは一、二年だけの予定でしたが、置賜地方の美しさと独特な文化に魅了され、食べ物もとてもおいしく、三十年近く経った今ではここが私の故郷となり、とても大好きになりました。

他県からここに来られた学生の皆様には、ここでの時間を楽しく過ごし、いろんな経験を体感して地元の学生と交流してぜひ楽しんでいただきたいと思っています。

最後に、皆さん悩んだり未来への不安などもあるでしょうが、希望を持つ必要な友情とサポートを見つけて、そしてここでの経験を糧となり将来へ結び付けられることを願っています。

山形県立米沢女子短期大学

日本史学科
教授 原 淳一郎

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。大学は自分を磨く場所だと思います。初めて一人暮らしする方も多いと思います。目覚ましをかけて自分で起き上がり、登校することになります。高校までと異なり、毎日点呼されることはありません。自分で計画して単位を取り、授業ごとにメチャ取り組み方が異なる課題をこなしていかなければなりません。そのような意味で、大学は社会に出席する前の練習場です。私は、大学教育には、ほとんど無駄がないと考えています。レポートを書くこと、卒業研究を書くことは、誰

かの主張を可能な限り正確に把握し、その問題点を提示し、その問題点の解決に知恵を絞るという過程に他なりません。これは社会での営みと全く同じ構造です。人前で発表することは、自分が話す内容を他人に理解してもらい、共感を得る作業です。イベントで誰かと協同することは、コミュニケーション力を培い、組織を動かす力を養うことになるでしょう。これらができなければ、ほとんど多くの職業上の営みや何らかの活動を前進させることは難しいはずで、全力で無駄のない二年間を過ごしましょう。

山形県立米沢女子短期大学

社会情報学科
准教授 中川 恵

大学生活のスタートおめでとうございます。新しい環境に馴染むため、講義やサークル活動、アルバイトなどで忙しい日々が続いていることでしょう。その中でもぜひ自分が「やりたい」と思うことに挑戦してみてください。大学は学びの場であると同時に、自分を試して成長させる絶好の場です。趣味に没頭する、勉強を究める、インターンシップや課外活動に挑戦するなど、自分の可能性を広げるための行動を起こしてみましよう。その一歩が新たな自分の発見につながることでしよう。そして「ちょっとがんばりすぎたな」と思ったら、しっかりと休息をとって自分自身をいたわりましよう。温泉、スイーツ、友だちとの会話など、あなた自身にとつての癒しは何であるのかもじっくりと探求してください。米沢には美味しいもの、楽しい場所がたくさんありますよ。充実した学生生活が送れるよう応援しています。

